【2022年度 予算】

令和4年4月1日~令和5年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		予算額
事業活動による収支	介護保険事業収入	869,660
	高齢者支援事業収入	25,975
	その他の収入	5,395
	事業活動収入計 ①	901,030
	人件費支出	640,990
	事業費支出	145,480
	事務費支出	96,340
	その他の支出	3,600
	事業活動支出計 ②	886,410
	事業活動資金収支差額 ③(①-②)	14,620
収支等による	施設整備等収入計 ④	0
	施設整備等支出計 ⑤	16,260
	施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)	△16,260
る収支る収支	その他の活動収入計 ⑦	4,500
	その他の活動支出計 ⑧	22,100
	その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)	△17,600
予備費支出 ⑩		10,300
当期資金収支差額合計 (1)(③+⑥+⑨-10)		△29,540

【2022年度 事業計画】

法人基本理念

--親和---

『法人、施設の役職員が、一致協力して、利用者に 親しみやすい和やかな生活の場を提供する施設を経 営することを目的とします』

農業の分野で接木と言う技術があります。穂木と台木を接合させるもので、穂木と台木が一体となって、その後の生育が順調に行われることを「親和性」があるといいます。「親和性」が高ければ、枝葉が茂り、花が咲き、やがて実を結びます。

私たちは、この「親和」を基本理念として、利用者と 職員が、職員相互が、そして法人と地域社会とが、相手の 立場を尊重した深い信頼関係を土台として、ともに成長し ていくことを目指します。

一利他のこころー

『先ず他の人の幸福、利益を考える』

法人、施設の役職員は常にこの理念をもってサービスの 提供にあたり、利用者の人としての尊厳を守ります。

経営計画(基本方針)

(1) 2022年度 事業計画の基本方針

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の拡大により、法人の経営も大きな影響を受けていますが、先行きは依然不確実な状況です。法人の業績は新型コロナの影響もあり低調に推移しており、これを打開するためには収益力の強化と人材の確保が重要な課題です。法人の使命は地域で必要とされるサービスの提供を継続していくことであり、2022年度は、この使命を果たすため、引き続き新型コロナへの対策に万全を期すとともに、収益力の強化と人材の確保を最重要課題として事業を展開していきます。

新型コロナについては、マニュアルを策定済みであり、今年度は災害等を対象としたBCP(事業継続計画)を策定の予定。

(2) 行動指針・判断基準

新型コロナ拡大の状況下でも法人の基本理念に変更はなく、下記を基本理念に基づく行動指針・判断基準とします。 「介護の親和」は 協力する 気付きあう 思いやる

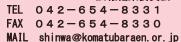
「介護の利他のこころ」は 相手の幸福 相手の立場 相手の思いを最優先

(3) 重点目標

- ①その人らしい生活のために ~個別ケアの充実させる
- i) 個別ケアを充実させる(ケアプラン等)
- ii)看取り対応を充実させる(食事、家族、加算等)
- ②人材の育成と組織の活性化 ~働きがいと魅力のある職場づくり
- i) 接遇の向上を図る(虐待防止等)
- ii)研修を行う(内部、外部リモート等)
- ③地域社会への貢献 ~選ばれる福祉の拠点を目指す
- i)感染対策を行って行事等を行う(敬老、小松の杜、福祉フェス等
- ii) 八王子市高齢者在宅サービスセンター中野 指定管理者更新準備
- ④経営の安定 ~継続は力

発行 〒193-0802

東京都八王子市犬目町 688-2 社会福祉法人 親和福祉会 広報編集委員会



MAIL shinwa@komatubaraen.or.jp ホームページhttp://www.komatubaraen.or.jp ↑ スマートフォンや携帯電話で、いつでもホームページに アクセスできます。



親和福祉会広報誌 No. 73 2022/4





題字:渡邉 角子様 89歳

2022年度事業計画について

理事長 齋藤 悟

法人の運営につきまして、日頃よりご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この2年間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会全般に亘りさまざまな変化を余儀なくされていますが、法人の運営につきましても大きな影響を受けています。ご利用者の皆様には外出の機会もなく、また、ご家族の皆様には面会の制限でご不便をおかけしております。コロナも収束には至っておりませんが法人では今年度も事業計画を作成しました。引き続きコロナウイルス感染症の感染防止に努め、ご利用者の皆様の安全確保を第一に日常の生活をできるだけ元に戻していくこと、地域との関係では、分断された関係の修復に努めることが、基本的な方向です。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



目次

- ▶ 理事長 挨拶
- ▶ 小松原園特養 行事報告
- ▶ 2022年度 予算・計画



やっぱり、コロナ禍では食べることが楽しみですよね!

おもちサロン!

パンを作りましたよ!













やっぱりお正月は 「お雑煮」「お汁粉」ですよね!

まぁ、懐かしい?

スキルアップ研修

副主任のスキルアップ研修の修了式を行いました。

1年間お疲れ様でした。 この研修で学んだ事を現場で 活かして下さい!



2022年度人職職員

向かって左から 「川南さん」 「山崎さん」 「加藤さん」 (理事長) 「奥脇さん」です。





頑張って下さい。期待しています!

開園記念!

小松原園の開園記念日に、今年もコロナで影響のある 近隣のお店の応援企画で職員がそれぞれお好み食を頼みました。





犬目町 「六文銭」 お弁当

